令和6年度 部局経営目標

年度	令和6年度	作成日	令和6年4月1日
部局名	市長直轄組織	部局長名	今石 久嗣
(1) 部局の役割・使命 (ミッション)			
【No.11：住み続けられるまちづくりを】 1. 防災意識の向上 地域の自助・共助による防災意識の向上を図ります。 2. 災害に強いまちづくり 災害に強いまちづくりを進めます。			
(2) 部局の重点施策			
② 自分らしく暮らせる「共生の地域社会まにわ」の実現 「誰一人取り残さない」防災体制の構築 ③ 市民とともにつくる持続可能な地域づくり 大規模災害による被災を想定した指定避難所の環境整備・強靱化	(1) 迅速かつ的確な避難情報等の市民へ提供 (2) 自主防災組織等、地域防災力の育成・充実 (3) 消防団の機能充実及び団員の確保 (4) 福祉部局と連携した、「避難行動要支援者名簿」、「個別避難計画（わたしの避難プラン）」の作成および運用 (1) マニュアル整備、開設訓練等、指定避難所開設態勢の確保 (2) 長期停電を想定した、指定避難所への給電体制の構築 (3) 災害時備蓄品の適正管理		
(3) 事業成果目標			指標名及び目標値
●人口減少抑制対策 消防や地域団体と協力し、子ども向けの防災イベントやワークショップを開催し、子育て世代の親子に防災に関する知識や技能を学んでもらい、現在の暮らしに安心感を持ってもらう。また地域と交流を通じて愛着や責任感を高め、地域へのつながりの再構築と定着意識を促進する。			指標:開催回数 ・子供向け防災イベント等 目標値:5回 (令和5年度実績値:ー)
1-①緊急時の市民への迅速な情報伝達を目的とした「消防・防災情報配信システム」の普及を目指します ・利用率の高いLINEをはじめとした各種情報伝達手段で、モバイル媒体を活用する若者世代から、アナログ媒体に親しみのある高齢者世代まで効果的な手段で市民等への災害時情報配信の強化を行い、「避難率の向上」と「逃げ遅れゼロ」を目指します。 ・情報の受け手に登録をしてもらう必要があるため、広報紙、MIT、新聞を活用し広報を行う。 ・市民の集まる場所での普及啓発を行う。			指標:システム登録者数 目標値:2,500人 (令和5年度実績値:1,202人)
2-①自主防災組織等の避難・防災訓練を支援します ・自主防災組織の組織率も80%を超え各地域に取り組みが普及してきたことから、今後は組織の育成強化に重点を置き、更なる防災力の向上を図ります。 ・防災意識の高揚を図るため、自主防災組織等で実施する研修会や避難・防災訓練を支援します。 ・自主防災組織補助金の活用 ・防災出前講座の活用 ・浸水被害、土砂災害などを想定し、真庭市と地域団体等による防災訓練を実施します。			指標:開催回数 ・防災出前講座 目標値:60回 (令和5年度実績値:49回)

<p>2-②地域住民の防災意識の向上を図るための啓蒙、啓発を実施します</p> <p>・「自らの命を守るために自助共助の主体である地域住民の防災意識の向上を図る」をテーマとし、最新の防災情報はもとより、平時の対策方法や避難の方法を周知し、住民一人ひとりの防災意識の向上を図ることを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報真庭や真庭市ホームページ、MIT等を活用しての広報活動 ・防災イベント開催又は各種イベントに参加しての広報活動 	<p>指標:活動回数</p> <p>①広報誌等での広報活動 ②防災イベントでの広報活動</p> <p>目標値:①6回、②4回</p> <p>(令和5年度実績値:①7回、②3回)</p>
<p>3-①消防団の機能充実を図るため「消防ポンプ車」「小型ポンプ積載車」「小型ポンプ」を計画的に更新します</p> <p>・老朽化した消防車両等を更新計画に基づき更新し、消防力の維持・向上を図る。</p>	<p>指標:更新台数</p> <p>目標値:ポンプ車1台、積載車3台、小型ポンプ5台</p> <p>(令和5年度実績値:ポンプ車1台 積載車3台 小型ポンプ5台)</p>
<p>4-①「避難行動要支援者名簿」を活用した「個別避難計画」の作成及び更新</p> <p>・福祉部局で作成する「避難行動要支援者名簿」を活用し、関係団体と協力して「個別避難計画」の作成及び更新を行う。</p> <p>・令和6年度は自主防災組織等関係団体に「個別避難計画」の重要性を周知し、作成及び更新の協力依頼を行う。</p> <p>・災害時等に自主防災組織等と連絡をとり、地域の状況把握や要支援者の迅速な避難行動につながるよう体制を構築する。</p>	<p>指標:開催回数</p> <p>・自主防災組織個別説明会</p> <p>目標値:20回</p> <p>(令和5年度実績値:—)</p>
<p>5-①真庭市地域防災計画の見直しを行います</p> <p>・近年頻発する大規模災害を教訓とし、今後災害発生に備えるため、災害対策基本法の一部改正、国の防災基本計画、岡山県地域防災計画の改定を踏まえ、真庭市地域防災計画の見直しを行います。</p> <p>・現状に即して各種マニュアルの見直しを行うことにより、迅速かつ的確な現場対応を可能とし、より実効性の高い防災体制を構築します。</p> <p>・見直しを行った防災体制による職員の参集訓練を行い、防災体制の強化を図ります。</p> <p>・避難所の開設運営訓練を行うことにより、有事の際により安全な避難所の運営を目指します。</p> <p>・職員向けの防災研修や被災地への派遣など、職員の防災対応スキルの向上に努めます。</p>	<p>指標:開催回数</p> <p>①防災会議 ②危機管理推進会議</p> <p>目標値:①1回 ②1回</p> <p>(令和5年度実績値:防災会議未開催、危機管理推進会議1回)</p>
<p>6-①自家発電設備の導入が困難な指定避難所への給電体制を整備します</p> <p>・大規模災害時等における長期停電に備え、自家発電設備の導入が困難な指定避難所へEVから給電できる設備(※V2X)の導入を進める。</p> <p>・令和6年度は指定避難所8施設に導入予定。</p> <p>・V2Xは平常時はEVの普通充電設備として利用可能なため、EVの普及促進のため、一般利用の検討も併せて行う。</p> <p>※V2X:V2X充放電設備=電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド自動車(PHV)への充電並びにEV・PHVから施設へ放電(給電)ができる装置。放電(給電)機能は災害等による停電時のレジリエンスを向上させる。</p>	<p>指標:導入施設数</p> <p>目標値:8施設</p> <p>指標変更 (令和5年度実績値:—)</p>

<p>7-①大規模な災害が発生した場合を想定し配備している「備蓄品」を適正に管理します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害の発生被害及び他自治体からの支援到着時期を想定し、孤立が想定されるなど地域の地理的条件等も踏まえて、備蓄している食料、飲料水、生活必需品等を真庭市備蓄計画により、適正に管理・更新する。 ・新たに備蓄したマスク、消毒などの感染症対策物品についても使用期限前の更新を行うことにより、より確実な対策を行う。 ・特に、直接口に入るもの、肌に触れるものは遅滞なく更新を行い、期限がくるものについては自主防災組織の訓練、学校での訓練で配布を行いロスを削減する。 	<p>指標：期限切れ備蓄品数</p> <hr/> <p>目標値：備蓄計画による</p> <hr/> <p>(令和5年度実績値：計画どおり完了)</p>
---	---